

福島医薬品関連産業支援拠点化事業
創薬研究支援受託解析説明会

臨床を反映した 抗がん剤評価の受託解析

参加無料 事前申込制

2017年3月8日 水 14:00-16:00 (13:30 受付開始)

トラストシティカンファレンス・丸の内【Room 2】

東京都千代田区丸の内1-8-1 丸の内トラストタワーN館11階

福島医薬品関連産業支援拠点化事業では、臨床検体から樹立したヒトがん細胞、遺伝子を導入した遺伝子強制発現細胞株、細胞バンク等から入手したヒト細胞株、ヒトiPS細胞由来正常細胞など(福島コレクション)を用いて、医薬品や開発中の薬剤の薬効・毒性評価を行っております。

薬剤に対する細胞応答性を、本事業で構築した精度の高い評価系で解析し、臨床情報、ゲノム配列、遺伝子発現およびタンパク質発現などの情報を付加し、薬剤に対するヒト細胞の応答性情報のデータベースを構築しています。

このデータベースを用いて、医薬品候補化合物の薬効・毒性評価を行い、医薬品開発の効率化を目指した創薬研究支援受託解析を行っております。

皆様の研究開発推進のご参考にして戴きたいと考えていますので是非奮ってご参加ください。

プログラム

開会のご挨拶 「福島コレクションと福島セレクト」

渡辺 慎哉

(公立大学法人福島県立医科大学
医療-産業TRセンター長/教授)

「臨床を反映した抗がん剤評価のための受託解析」

高木 基樹

(公立大学法人福島県立医科大学
ケミカルバイオロジー分野教授)

1. がん組織由来培養細胞(塊)を用いた抗がん剤の評価
2. 遺伝子強制発現細胞株を用いた抗体医薬品(抗がん剤)の生物活性評価
3. がん細胞パネルを用いた抗がん剤の評価

主催 一般社団法人バイオ産業情報化コンソーシアム 

お申込み/お問い合わせ

一般社団法人バイオ産業情報化コンソーシアム (JBIC)
福島プロジェクトJBIC事務局 Mail▶ fmu@jbic.or.jp

※ 件名を「受託解析説明会申込み」とし、**2月28日まで**に貴社名・ご所属・ご芳名・ご連絡先(メールアドレス/複数名の場合は各位毎)を記載の上**メール**にてお申込みください。

ご紹介内容

1. がん組織由来培養細胞(塊)を用いた抗がん剤の評価

手術で取得したがん組織より樹立した新規のがん培養細胞(塊)を用いて抗がん剤の各種アッセイを実施します。これらのがん細胞は、元のがん組織の状態を維持していることを網羅的遺伝子発現解析で確認しております。臨床上、抗がん剤に耐性を示したがん組織より樹立した抗がん剤耐性がん細胞もあります。がん組織の状態に近い条件で抗がん剤の評価が可能です。加えて、これらの細胞を移植した免疫不全マウスを用いて抗がん剤の評価も可能です。

2. 遺伝子強制発現細胞株を用いた抗体医薬品(抗がん剤)の生物活性評価

がん関連遺伝子(変異遺伝子を含む)を安定・過剰発現させた細胞株を用いて、抗がん活性をもつ抗体医薬品の生物活性評価を行います。細胞増殖を高感度・ラベルフリーでリアルタイムに測定が可能なxCELLigence™を使用し、抗体医薬品の抗体依存性細胞傷害(ADCC)補体依存性細胞傷害(CDC)活性による細胞増殖阻害の測定を行います。臨床情報を反映した抗がん剤の応答性を検出することができ、特定の遺伝子変異に対する効果の検証も可能です。

3. がん細胞パネルを用いた抗がん剤の評価

抗がん剤への感受性プロファイリングと遺伝子発現プロファイリングから選択した45種類のがん細胞株を用いて抗がん剤の評価を行います。ご要望に応じて、使用した細胞株の全エクソーム解析、遺伝子発現解析データの有償提供も可能です。



東京都千代田区丸の内1-8-1 丸の内トラストタワーN館11階
トラストシティカンファレンス・丸の内 Room 2

- ・JR東京駅 八重洲北口改札を出て左方向、日本橋口より徒歩1分
- ・東京メトロ 丸の内線・東西線・千代田線・半蔵門線 大手町駅 B7出口より徒歩2分
- ・東京メトロ 銀座線・東西線/都営浅草線 日本橋駅 B3出口より徒歩4分